



桜だより

伊丹市立桜台小学校
校長 日外 亮



6月1日(土)



今日は、青空に包まれ、見事な運動会日和。さらに、6月1日は桜台小学校の創立記念日。このような良き日に、運動会を実施することができ、教職員一同、とても嬉しく思っております。

開会式の「学校長あいさつ」では、子どもたち一人ひとりが主体的に運動会に取り組めるよう、大切にしてほしいこととして、「する」・「みる」・「ささえる」の3つについてお話をしました。

リレーの様子を見ていると、途中で転んでしまった児童がいました。転ぶのは、一生懸命走っているからこそ転ぶわけであり、手を抜いて走っていたら、絶対に転ぶことはありません。転んだ後、次走者へ必死にバトンをつなげる姿に感動しました。大変立派でした。

また、「足の速い人、遅い人」とよく言いますが、それは他者との比較でのみ生まれます。リレーでは、一緒に走るメンバーとの比較の中で、「足の速い人、遅い人」は必然的に生まれるのであります。例えば、極端な話ですが、陸上100m世界記録保持者のウサイン・ボルト選手と一緒に走ったら、地球上の人間全員が「足の遅い人」となるのです。

人には「足の速さ」だけに限らず、得意な事もあれば、苦手な事もあります。そのような中、子どもたちには、何事にも一生懸命真剣に取り組んでもらいたいです。そして、後で振り返った際、自分自身どれだけ頑張ったか、自分で自分の成長を感じてもらいたいです。このような経験は、自己肯定感の向上につながります。

今日は、1年生から6年生まで、暑い中、最後まで本当に頑張りました！

今後の学校生活においても、この運動会の経験を生かし、引き続き、友だち一人ひとりの頑張りをよく見て、その成長をお互いに讃え認め合える、そのような温かな学校を目指してまいります。

